

令和3年度 事業報告

1. 学校法人の概要

(1) 法人の名称および所在地

法人の名称	学校法人 成徳学園
事務所の所在地	札幌市中央区南 11 条西 8 丁目 2-47

(2) 理事(6名)・監事(2名)

区分	選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
理事長	第6条1項	高田 研 司	常 勤	令和3年6月8日
理 事	第6条2項	千 葉 英 守	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条2項	細 川 正 人	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条3項	浅 香 博 文	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条3項	佐 藤 秀 幸	非常勤	令和3年6月8日
常務理事	第6条3項	野 村 昌 昭	常 勤	令和3年6月8日
監 事	第7条1項	荒 信 幸	非常勤	令和3年6月8日
監 事	第7条1項	高 橋 研 人	非常勤	令和3年6月8日

(3) 評議員 (13名)

選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
第23条1項	高田 研 司	常 勤	令和3年6月8日
第23条3項	浅 香 博 文	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	佐 藤 秀 幸	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	玉 木 克 典	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	笹 川 信 雄	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	中 原 明	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	上 田 強 志	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	角 谷 毅	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	馬 場 伸 哉	非常勤	令和3年6月8日
第23条1項	野 村 昌 昭	常 勤	令和3年6月8日
第23条1項	藤 田 留 美	常 勤	令和3年6月8日
第23条2項	長 屋 敦 志	常 勤	令和3年6月8日
第23条2項	小 野 千 晴	常 勤	令和3年6月8日

(4)教職員数(令和3年4月1日現在)

専任教員	専任職員	講師
12名	2名	47名

専任教員

退職者 2名(令和4.2.28付 1名・4.3.31付 1名)

休職者 1名

(5)入学定員及び学生数

学 科	入学定員	収容定員 (2学年)	学 生 数		退学者 除籍者	休学者
			令和3年4月1日	令和4年3月31日		
介護 福祉科	80名	160名	1年 18名	1年 17名	1名	0名
			2年 17名	2年 17名	0名	0名
※ こども 福祉科	80名	160名	1年(保・幼) 19名	1年(保・幼) 17名	2名	0名
			1年(保) 15名	1年(保) 13名	1名	1名
			2年(保・幼) 16名	2年(保・幼) 16名	0名	0名
			2年(保) 16名	2年(保) 16名	0名	0名
合 計	160名	320名	101名	96名	4名	1名

※(保・幼)…保育士・幼稚園教諭コース/(保)…保育士コース

2. 事業の概要

(1)事業計画に基づく動き

1. 学校経営改善4ヶ年計画

①学生募集の基盤構築

広報グループを中心に職員全体で組織する。コロナウィルス感染拡大防止の観点から、オープンキャンパスに人数制限を設けたり、午前と午後の短時間での開催、オンラインでの学校説明を行うなど、高校生にとって安心安全な広報活動を展開した。いずれも、個別対応に特化して、高校生に寄り添う対応を行う。また、コロナ禍の中インターネットを中心とした新たな広報の形を構築した。しかし、昨年より入学者は増えたものの、当初目標の入学者 80 名には届かず、さらなる募集活動の改善と修正が必要である。

②人材基盤構築

介護福祉科とこども福祉科の二学科に学科長を配置して、学科を中心とした学校運営を行う。両学科の学科長を中心とした、職員の形が確立され、日々の業務運営や学生指導を行うことができた。また、職員全体の情報共有及び打ち合わせの場は、随時設定することにより、教員全員が学校全体の動きを確認・検討ができた。

③せいとくブランド構築

コロナウィルス感染拡大防止のため、外部へ「せいとくブランド」発信の機会を得る事が困難であった。今後は、今の社会情勢の中で施設と協力しながら、ブランド力の確立に向けた活動を展開したい。

2. 教育力・サポート力の強化

①入学前教育(ゼロガク)の実施南波以来

入学前のモチベーション維持と、入学前からのクラスメイトとの関係構築により、スムーズに学校生活に順応できたことと、早期退学防止に繋がったと考えられる。

	日にち	来校参加	オンライン参加
(第1回)	令和3年 6月 25日		5
(第2回)	令和3年 7月 31日		6
(第3回)	令和3年 8月 28日		6
(第4回)	令和3年 9月 25日		6
(第5回)	令和3年 11月 6日		10
(第6回)	令和3年 11月 27日	10	5
(第7回)	令和3年 12月 18日	9	6
(第8回)	令和3年 1月 22日	8	
(第9回)	令和4年 2月 19日	オペレッタ配信	オペレッタ配信
(第10回)	令和4年 3月 29日	14	3

②卒業後教育(プロガク)の実施

卒業生が、社会福祉・教育分野において、さらに長く確実に活躍できるプログラム。
(令和3年卒業生対象)

- ・令和3年4月20日 20:30～21:30 オンライン (参加者5名)
～ 入職してからの課題、今の困りごと解決の方法 ～
- ・令和3年5月18日 20:30～21:30 オンライン (参加者12名)
～ 新卒者のお悩み、解決相談会 ～

(全卒業生対象)

- ・令和3年6月22日 20:00～21:00 オンライン(参加者18名 + 教員他5名)
～ 職場でクラスターが発生した場合 体験から伝えられること ～
講師:戸澤 一平(平成13年度卒業生)

※プロガク以外に保育・介護にかかわる研修会をSNSにて随時告知。

③スクールカウンセラー(委託)による相談体制の充実と連携

- ・スクールカウンセラー(臨床心理士)により、定期的なカウンセリング体制をとった。急を要する案件については、予定日以外にも対応することにより学生の悩みを早期に解決した。
- ・必要がある場合は、保護者との面談を行うなどして、学生の問題解決に努めた。
- ・前年度比較で、退学者は1/3(4名)、休学者は1/4(1名)まで減少した。

④介護福祉士国家試験合格に向けての取り組み

- ・受験するかしないかを各自選択。また、基準を設けて、卒業に向けて学力に不安があり国家試験合格が困難と判断された学生には、卒業のための学習を優先して国家試験受験を見送らせた。
- ・国家試験受験者14名合格 (受験者16名、受験見送り1名)
- ・授業「国家試験対策」30時間実施
- ・「国家試験受験対策模擬試験」を年3回実施

- ・「国家試験対策講座」 令和3年12月22日～令和4年1月14日(10日間)
- ・「国家試験直前特別対策」 令和4年1月24日～1月28日(5日間)

⑤教育力向上のための教員の校外研修・校内研修の実施

- ・ヒューマンアカデミー オンライン研修「留学生への教え方講座」
(令和3年8月2日～10月7日) 全5回 オンライン 5名参加
- ・全国保育士養成協議会 全国保育士養成セミナー (令和3年9月16日～17日)
オンライン 教員2名参加
- ・日本介護福祉士養成施設協会 全国教員研修 (令和3年11月17日)
オンライン 3名参加
- ・文部科学大臣認定「職業実践専門課程に係る研修会」
「この子、ちょっと変わっている・・と感じた時の支援法～普通と異常の境界線って何？」
(令和3年12月23日) 3名参加
- ・北専各連札幌支部研修会(令和4年1月11日) 1名参加
- ・日本介護福祉士養成施設協会 北海道ブロック教員研修会
「発達障害を抱える学生の学ぶ環境について、介護福祉士養成施設として具体的対応方法や考え方を学ぶ」(令和4年2月18日) オンライン 1名参加
- ・キャリアコンサルティング研修 (令和4年3月9日) 13名参加

⑥授業アンケートの活用

各教科のアンケートは Google フォーム(オンライン形式)を導入して、学生がスマートフォンで入力ができるよう変更した。より効率化を考え、学生がいつでもアンケートに答えられるよう対応したが、そのため回答忘れ等により回答率が下がってしまった。また、データの分析までには至っていない。今後は、回答の徹底を図り、全教科のアンケートのデータ化と分析を行い、教科担当にフィードバックしながら授業の質の向上に努めたい。

⑦留学生向け語学サポート事業の実施

始業前の時間を利用して、日本語教員資格を持つ教員が語学サポートを行った。

3. 介護福祉士養成カリキュラムの変更に対応

介護の専門職として、介護職チームの中で中核的な役割を果たし、認知症高齢者や高齢者単身世帯等の増加などに伴う介護ニーズの複雑化・多様化・高度化等に対応できる介護福祉士を養成するための介護福祉士新カリキュラムを策定。令和3年度入学生より導入。

4. 職業実践専門課程における各種委員会の開催

①教育課程編成委員会

専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設やその他の教育課程の編成(授業内容・方法の改善・工夫等を含む)を行うための組織

(第1回) 令和3年6月23日 10:00～12:00 (第2回) 令和3年2月14日 10:00～12:00

②学校関係者評価委員会

学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

令和2年8月26日 10:00～12:00

5. 同窓会活動の推進

同窓会日程確定前に、コロナウィルス感染拡大防止のため中止を決定。

6. 介護福祉士および保育士養成科訓練生(高等技術専門学院)の委託受入事業

令和4年4月より、こども福祉科(保育士コース)に9名(受験者14名)と介護福祉士科に3名(受験者3名)の訓練生を受け入れた。

7. 地域住民との共生

- ・せいとく祭り・・・令和3年9月18日予定
コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止
- ・オペレッタ・・・令和4年2月18日(金)

コロナウィルス感染拡大防止のため、二日間の予定を一日に短縮した。また、外部からの見学中止。在校生・卒業生・LINE 登録者に対しては、Youtube によるオンライン配信。その他、「あけぼのサマーフェスティバル in 曙」及び「曙地区親子雪の集い」等の地域行事は、コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止となった。

8. 校舎管理に関する修繕工事及び備品購入など

- ①校舎内一部清掃業務委託…クリーンコーポレーション(2021.9.26～)
- ②床カーペット張り替え…理事長室・校長室・305 教室
- ③電子ピアノ 4 台更新
- ④掃除機の分解掃除(8 月・12・3 月)
- ⑤床暖房運転は、2 時間ごとに室温の確認をして操作した。
- ⑥校舎前除雪は、職員で行うことができた。体育館横駐車場は、業者に委託。
- ⑦冷房機(室外機)カバー1台分を前谷設備から寄贈を受ける。
- ⑧清掃関係器具及び清掃用品の計画的な更新を行った。

9. 経営の安定化

経費支出の削減を目的に、費用発生時の効果と必要性を吟味した。

10. 留学生受入事業

①「中華人民共和国からの外国人留学生受入プログラム」(共同:西野学園)

留学希望者は、令和3年4月～令和4年3月の期間、友ランゲージアカデミー札幌校(札幌の日本語学校)のオンライン授業を受けていた。当初28名の留学希望者がいたが、なかなか入国ができないため8名キャンセルし20名となる。

そのうち、成徳学園には12名の留学生が入学した。入国後は、各支弁事業所との契約を進めている。中国国内のコロナウィルス感染拡大対策により、2名のみ入国日未定。

②日本語科の開設事業

令和3年11月15日に申請書類を札幌出入国在留管理局に提出。文部科学省のヒアリングは、令和4年2月3日に終了。認可決定は、令和4年5月中旬を予定。

この後、文部科学省よりヒアリングと実地調査を予定。認可決定は11月下旬の予定。

③中国大学との教育連携

現在進めている「中華人民共和国からの外国人留学生受入プログラム」に協力している大連の会社から、貴陽康養職業大学(貴州省)との提携を打診してきたため。中国政府では、1年間に1校対1校の教育連携のみの受付となるため、将来性を考慮して判断した。

11. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

①第105回入学式 新入生と専任教員のみ出席

規模縮小時間短縮で実施

②授業時間及び授業形態の変更

令和3年5月12日～5月14日 9:30～14:40 クラスによりオンライン及び対面授業

令和3年5月17日～6月18日 10:00～15:10 対面授業

令和4年1月24日～3月16日 10:00～15:20 クラスによりオンライン及び対面授業

※上記オンライン授業時に、留学生はすべて対面授業を行った。

③2年生の実習日程を変更

・介護福祉科2年「介護実習Ⅱ」

令和3年5月31日～7月9日 → 7月5日～8月13日

・こども福祉科2年(保育士・幼稚園教諭コース)「教育実習」

令和3年5月31日～6月25日 → 6月7日～6月25日

・こども福祉科2年(保育士コース)「保育実習Ⅱ・Ⅲ」(保育・福祉施設実習)

令和3年6月14日～7月2日 → 7月26日～8月12日

④1年生の実習日程の変更

・介護福祉科1年「介護実習Ⅰ-①」

令和3年6月29日～7月1日及び9月30日～10月8日 → 9月30日～10月13日

・こども福祉科1年(保育士コース)「児童館実習」

令和4年1月24日～2月4日 →

(学内実習)1月26日～28日 (現場実習)1月31日～2月4日

⑤新型コロナウイルス・ワクチン職域接種の実施

学校法人西野学園・北海道鍼灸専門学校・北海道柔道整復専門学校と4校合同で実施した。対象は、本校の接種希望する学生と教員及び教員の家族とした。

第1回目 令和3年8月1日(日)

第2回目 令和3年8月29日(日)

⑥登校時に手指消毒と消毒マット使用。職員は、非接触体温計による検温と体温チェック表記入。学生は各自の体温チェック表記入。

⑦教室内に加湿機能付き空気清浄機の配置、一定時間での教室換気

⑧トイレ内ペーパータオルの設置

⑨共用部分の消毒の徹底

⑩第104回卒業式 卒業生と専任教員及び卒業生の各家庭から2名までの出席
規模縮小・時間短縮で実施

(2)教育の概要

授業日数・授業時間数

学科・学年	介護福祉科		こども福祉科			
	1年	2年	保育士・幼稚園教諭 コース		保育士コース	
			1年	2年	1年	2年
授業日数	200日	200日	197日	192日	195日	190日
授業回数 (行事除く)	571回	564回	561回	556回	561回	527回

(3)就職関係

①求人状況

令和3年度 求人合計 962件(内訳:北海道内 624件/北海道外 339件)

	種別	道内求人		道外求人	
		施設数	求人数(人)	施設数	求人数(人)
1	特別養護老人ホーム	69	184	44	191
2	介護老人保健施設	31	83	28	90
3	病院・医療法人	13	46	21	66
4	社会福祉法人	27	142	-	-
5	高齢者その他	54	180	14	78
6	保育所	163	482	186	1,116
7	幼稚園	59	148	11	30
8	認定こども園	79	211	25	70
9	児童養護施設	10	32	4	33
10	障がい児施設	21	47	5	34
11	託児所	36	108	4	16
12	障がい者支援施設 (身体障害者)	5	13	-	-
13	障がい者支援施設 (知的障害者)	31	115	3	15
14	公務員・その他	25	106	-	-
15	一般企業	1	2	1	10
	合計	624	1,899	338	1,749

②就職実績

学 科	クラス	在籍数	就職を依頼 しない者	就 職 希望者	就職 決定者	就職率
介護福祉科	2KA	17名	1名	16名	16名	100%
こども福祉科	2SA	16名	0名	16名	16名	100%
	2SB	16名	0名	16名	16名	100%
合 計		49名	1名	49名	48名	100%

(4) 学生募集関係

入学案内を廃止、進学相談会と校内ガイダンス参加を縮小して広報費を抑えつつ、インターネットや SNS によって入学者増を目指した。

ア) 進学相談((7回)・校内ガイダンス(20回)

北海道内の市町村にて、会場あるいは高校内体育館でブースを設けて、高校生に学校の説明をする。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急きょ開催中止になるなど、全体の開催回数が減少した。

イ) 進学雑誌・ホームページ

進学雑誌は、業者が発行して高校生に配布する媒体(インターネット連動)に参画。ホームページは、学校の紹介と資料請求ができるものとして本校独自に作成。

ウ) オープンキャンパス(26回)

高校生が介護・保育の体験を通して、職業理解・学校理解を深め、本校入学に結び付ける企画。コロナウイルス感染拡大防止のため、来校者の人数制限やオンライン参加が出るプログラムとした。また、開催時間を午前と午後の短時間で参加できる内容とした。動画視聴や個別面談をするなど参加者の安心安全を優先して実施した。

エ) 職業説明会・なるには説明会(15校)

依頼を受けた道内の高校に訪問して、高校 1~3 年生(一部中学生参加)を対象に、「介護分野」「保育分野」等の職業についてあるいは職業に就くまでのルートを解説する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数は減少した。

オ) 学校見学(中学生・高校生) (1校 12人)

依頼を受けた道内の中学校・高校より生徒が来校。キャリア教育の一環として模擬授業等を通して、進路選択についてより具体的なイメージを持つためのもの。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加校が減少した。

カ) 高校教員研修会(6校)

高等学校教員を対象に、奨学金・介護・保育分野等の説明を実施した。

月 日	会場（高等学校等）	参加者	月 日	会場（高等学校等）	参加者
4 /7	札幌新陽高等学校	13	12/24	中標津農業高校	19
7/29	南幌高等学校	10	1/18	芦別高等学校	12
9/13	南富良野高校	13	2/16	大空高等学校	10